



B U S I N E S S R E P O R T 2 0 1 1

第36期 中間報告書

平成22年12月1日～平成23年5月31日

ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

CONTENTS

株主の皆様へ	2
連結営業の概況	3
連結業績ハイライト	4
連結財務諸表	5・6
トピックス	7・8
会社の概要	9
株式の状況	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援・ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年3月、東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地が一日も早く復興し、活気ある豊かな暮らしをとりもどされますよう、祈念申し上げます。

<国内の状況について>

当社グループでは、東北地方に営業拠点や子会社を有しておりません。しかしながら、商社事業においては、被害に遭われたお客様の新規設備投資計画や操業開始時期、または仕入先企業様の生産開始時期が遅れたことの影響を受け、当初事業計画の一部が遅れが出ております。その他の事業におきましては、連結子会社のアルパレット株式会社が契約する協力工場の1つが被災したことから、製品供給が一時的に減少し、使用できなくなった在庫製品と貸与していた金型について特別損失を計上いたしました。

一方、プリフォーム事業においては、震災の直接的影響はなく国内のペットボトル飲料の売れ行きは引き続き堅調であり、お客様からのペットボトル用プリフォームの供給要請に応えるため、中国にあります連結子会社の愛而泰可新材料（蘇州）有限公司では生産ラインをフル稼働させて臨んでおります。

尚、当社では、国内における厳しい経営環境に対応するために、今年10月初旬に創業の地である八丁堀へ本社を移転し、コストの更なる削減を行ってまいります。

<海外での事業展開について>

世界中が熱い視線を注ぎ続けるアジア市場。当社グループも約10年前より拠点を構えてまいりましたが、事業拡大の“第2段階”にまさに入ろうとしております。

商社事業においては、中国、タイに続き、インドネシアに現地法人を設立いたしました（PT. Altech Asia Pacific Indonesia）。東南アジア各地に進出された日系企業様および現地の有力企業様に対し、信頼のおける優れた機械設備をご提供してまいります。

プリフォーム事業におきましても、中国の蘇州・広州・深圳とインドネシアに続き、タイにてこのほど生産を開始いたしました（本冊子7頁、トピックスご参照）。

東南アジア新興国では、経済発展とともに、PET容器に入った飲料・食品需要の更なる伸びが予想されます。当社グループは、容器に関する数々のアイデアや課題をお客様とともに検討しながら、着実に裾野を広げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りたく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



平成23年8月
代表取締役社長 張能 徳博

連結営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策による下支えやアジアを中心とした新興国経済に牽引される形で緩やかな景気回復基調にありましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、材料調達、生産、物流など広範囲にわたり影響が波及し、生産活動の急激な低下を招くとともに、消費マインドの大幅な悪化が懸念されるなど、厳しい環境の中で推移しました。

このような市場環境の下、当社グループは商社事業において、「新商品の発掘」および「コスト構造改革」、プリフォーム事業において、「適切な設備投資」および「生産効率の向上」を柱として経営計画の実現に向けて取り組んでまいりましたが、震災の影響により急速に変化する市場環境に対応するため、更なる営業施策およびコスト削減に取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、商社事業においては、震災の影響により大型機械販売において検収の時期にずれが生じるなどの影響を受けたこと、プリフォーム事業においては、海外の大口取引先の一部の工場が安定的稼働に至らずペットボトル用プリフォームの販売が減少したこと、その他の事業においては、協力工場の一部が被災し商品供給に支障をきたすなどの影響を受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,658百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。収益面については、追加的なコスト構造改革に取り組んでいるものの減収を補えず、営業損失117百万円（前年同四半期は232百万円の利益）、経常損失51百万円（前年同四半期は331百万円の利益）となりました。さらに、本社移転に伴う固定資産の減損損失58百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額18百万円に加え、震災の影響による固定資産の復旧費用などを災害による損失として26百万円を特別損失に計上したことにより、四半期純損失は167百万円（前年同四半期は224百万円の利益）となりました。

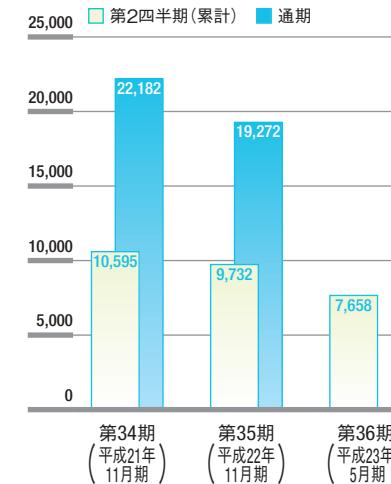
また、当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末と比べ287百万円増加し16,145百万円となりました。これは主に、流動資産においては現金及び預金が673百万円、商品及び製品が552百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が955百万円減少したことによるものであります。固定資産においては大きな変動はありません。

負債は、前連結会計年度末と比べ618百万円増加し7,374百万円となりました。これは主に、流動負債においては支払手形及び買掛金が399百万円減少したものの、前受金が553百万円増加したことによるものであります。固定負債においては資金調達により長期借入金が増加したことによるものであります。

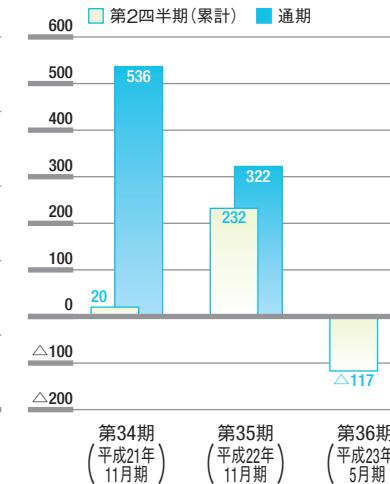
純資産は、前連結会計年度末と比べ330百万円減少し8,771百万円となりました。これは主に、資本剰余金が減少したこと、連結子会社であるアルパレット株式会社およびアルテック・エンジニアリングリング株式会社を100%子会社化したことにより少数株主持分が減少したことによるものであります。

連結業績ハイライト

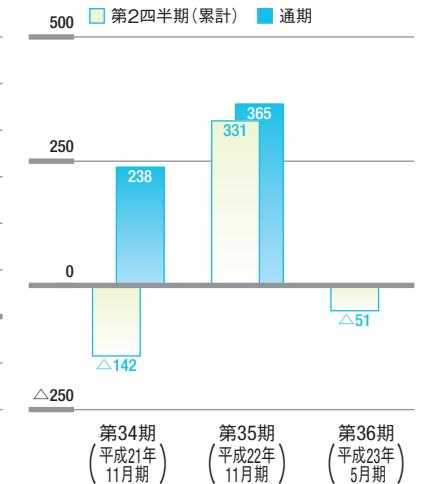
■ 売上高 (単位:百万円)



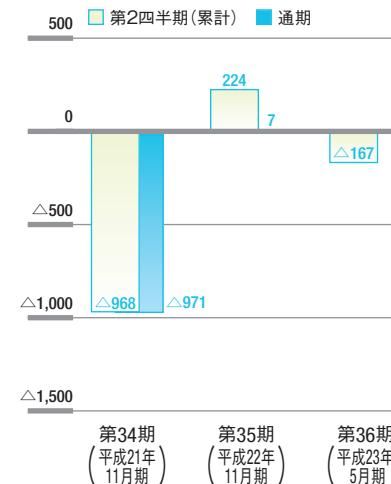
■ 営業損益 (単位:百万円)



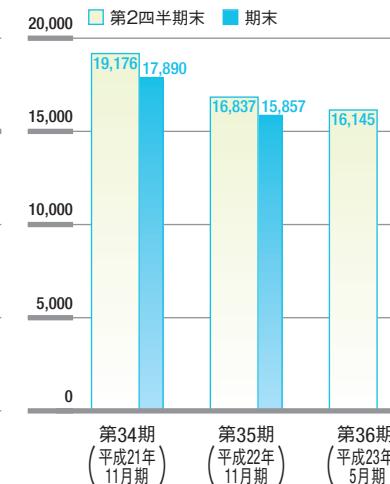
■ 経常損益 (単位:百万円)



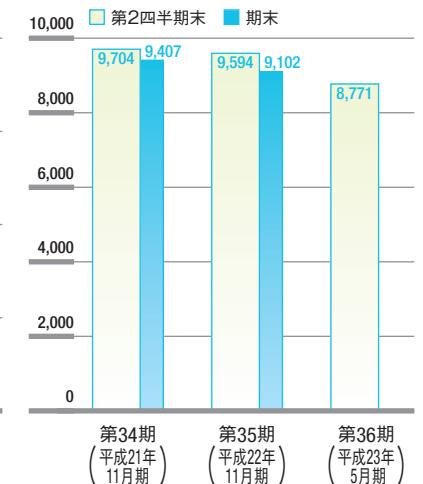
■ 当期純損益 (単位:百万円)



■ 総資産 (単位:百万円)



■ 純資産 (単位:百万円)



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)					
科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年5月31日現在)	前連結会計 年度末 (要約) (平成22年11月30日現在)	科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年5月31日現在)	前連結会計 年度末 (要約) (平成22年11月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	8,318,185	7,885,539	流動負債	5,418,514	5,080,918
現金及び預金	3,001,960	2,328,920	支払手形及び買掛金	1,992,104	2,391,333
受取手形及び売掛金	2,709,290	3,665,061	短期借入金	1,531,048	1,171,132
商品及び製品	1,467,281	914,583	1年内償還予定の社債	20,000	—
原材料及び貯蔵品	327,114	211,795	未払法人税等	23,961	29,983
前渡金	493,259	388,102	前受金	1,067,903	514,299
繰延税金資産	28,980	31,457	災害損失引当金	15,693	—
その他	308,942	364,493	繰延税金負債	1,736	2,566
貸倒引当金	△18,644	△18,873	その他	766,067	971,602
固定資産	7,827,238	7,971,907	固定負債	1,955,499	1,674,345
有形固定資産	5,599,744	5,695,741	社債	80,000	—
建物及び構築物(純額)	1,507,851	1,595,857	長期借入金	1,810,365	1,412,900
機械装置及び運搬具(純額)	2,709,174	2,618,422	その他	65,133	261,445
土地	80,479	80,479	負債合計	7,374,014	6,755,264
リース資産(純額)	160,088	162,190	純資産の部		
建設仮勘定	492,787	678,781	株主資本	9,166,057	9,390,904
その他(純額)	649,363	560,010	資本金	5,527,829	5,527,829
無形固定資産	152,546	159,672	資本剰余金	2,366,770	2,783,821
ソフトウェア	48,084	54,388	利益剰余金	1,494,223	1,301,941
その他	104,462	105,284	自己株式	△222,765	△222,688
投資その他の資産	2,074,947	2,116,493	評価・換算差額等	△464,575	△476,788
投資有価証券	287,079	309,588	その他有価証券評価差額金	△13,554	△16,313
関係会社出資金	1,102,022	1,092,433	繰延ヘッジ損益	2,530	△15,314
長期貸付金	3,000	35,000	為替換算調整勘定	△453,551	△445,160
敷金及び保証金	249,974	267,798	新株予約権	19,876	—
繰延税金資産	26,391	20,866	少数株主持分	50,051	188,066
その他	936,742	921,063	純資産合計	8,771,409	9,102,182
貸倒引当金	△530,263	△530,257	負債純資産合計	16,145,423	15,857,447
資産合計	16,145,423	15,857,447			

■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)		
科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年12月1日から 平成23年5月31日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年12月1日から 平成22年5月31日まで)
売上高	7,658,666	9,732,640
売上原価	6,393,552	7,892,083
売上総利益	1,265,113	1,840,557
販売費及び一般管理費	1,382,665	1,607,620
営業利益又は営業損失(△)	△117,551	232,936
営業外収益	190,707	247,791
営業外費用	124,499	149,574
経常利益又は経常損失(△)	△51,343	331,153
特別利益	72,460	13,287
特別損失	161,858	20,830
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△140,741	323,610
法人税、住民税及び事業税	26,487	77,769
法人税等調整額	△5,072	△878
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△162,156	—
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5,337	22,177
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△167,493	224,542

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年12月1日から 平成23年5月31日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年12月1日から 平成22年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	713,696	250,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△643,542	△161,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	587,501	△397,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,384	37,196
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	673,040	△271,885
現金及び現金同等物の期首残高	2,328,920	2,925,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,001,960	2,653,412

新しい取り組みのご紹介

タイでペットボトル用プリフォーム製造の新工場が操業開始へ

アルテックグループは、タイのアユタヤ県ワンノイ郡にてグループで8つ目となるプリフォーム製造拠点“Altech New Materials (Thailand) Co., Ltd.”を設立し、6月に操業開始いたしました。

アユタヤは、バンコクから約60～70km北に位置し、14世紀には王朝が開かれ400年以上にわたって栄えた地域です。チャオプラヤ川とその支流がもたらす豊かな田園地帯ですが、近年は工業の発展もめざましく、日系企業も多く進出しています。

アルテックグループは、タイに進出した日系大手飲料・食品メーカー各社から、中国・インドネシアでの高品質なプリフォーム製造実績を評価され、“是非タイでも生産し供給してほしい”というご要望をこれまでいただいでおり、急ピッチで準備を進めた結果、このほどようやく商業生産開始に至りました。

今後、これらのお客様とともに、プラスチック容器の様々な可能性を追求しつつ、タイの人々の彩り豊かな生活を陰で支える存在になっていくよう、精力的に事業展開をしてまいります。



工業団地入口



工場建物外観

新機種プリンタでミニラボプリント市場へ参入

アルテック(株)デジタルプリンタ営業部では、新機種プリンタ「MH250」を開発しました。私たちがデジカメで撮影したデータをプリントするとき、街中でよく利用するATMのようなセルフプリント機。その中に組み込まれた昇華型プリンタ「Megapixelシリーズ」や「CW」「CX」など、当営業部では現在までに昇華型プリンタを世界各地に販売してきました。台数でも数万台の販売実績を上げています。

そんな中、今回新たに「MH250」をリリースしたわけですが、この「MH250」、実はこれまでの一連の機種とは一線を画するものとなっております。

それは・・・

☆セルフプリント向けだった昇華型方式を、銀塩プリント方式が主流のミニラボ向け（店舗向け）に応用したこと
ミニラボ市場で主流の銀塩プリンタと新機種プリンタの違いはこんなにもあります。

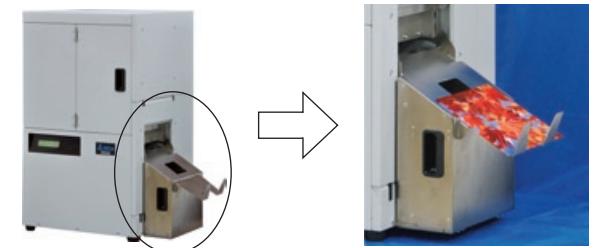
1. 価格 高価であった従来機の10分の1以下
2. 大きさ 従来の中型機と比べて約4分の1 オフィス用FAX機並み
3. 性能 “センタードラム式マルチヘッド”を搭載
これにより大量プリントが可能に（従来の中型ミニラボ機と同等）
高画質
4. 環境負荷 化学薬品 使用→不使用

さらに・・・

☆“センタードラム式マルチヘッド”のすごいところ

1. 従来型はヘッドが1つだったのを、基本色の数と同じ4つにすることにより、プリントスピードが4倍に！
プリント時間を大幅短縮
2. 使用するインクリボンのロス分を減少
3. 色別のインクリボンロールを使用することにより、製造コストが下がるため、売価も従来品より安くできる可能性がある。

今後、プリント枚数としては写真プリント市場の約65%を占めるミニラボ市場に本機をもって参入し、置き換え需要を狙っていきます。本格的な販売開始は今年9月となる予定です。



会社の概要

■ 会社の概要 (平成23年5月31日現在)

商号 アルテック株式会社
 設立年月日 昭和51年5月15日
 資本金 5,527,829千円
 従業員数 114名 (グループ全体579名)
 所在地 東京都新宿区荒木町13番地4
 住友不動産四谷ビル

〔10月11日より下記に移転いたします。〕
 東京都中央区入船2丁目1番1号
 住友入船ビル2階

■ 役員 (平成23年5月31日現在)

代表取締役社長 張 能 徳 博
 取締役兼専務執行役員 瀧 川 賢 一
 取締役兼執行役員 木 根 潤 明
 社外取締役 中 尾 光 成
 社外取締役 富 永 宏
 常勤監査役 菅 原 正 則
 社外監査役 今 中 幸 男
 社外監査役 越 智 俊 典
 社外監査役 平 岡 繁

執行役員 陶 山 秀 彦
 執行役員 阪 口 則 之
 執行役員 池 谷 壽 繁

■ 事業別グループ会社 (平成23年5月31日現在)

事業区分等	会社名
商社事業	アルテック株式会社
	アルテック・エンジニアリング株式会社
	愛而泰可貿易 (上海) 有限公司
	ALTECH ASIA PACIFIC CO.,LTD.
	エスコグラフィックス株式会社
プリフォーム事業	アルテック株式会社
	愛而泰可新材料 (蘇州) 有限公司
	愛而泰可新材料 (広州) 有限公司
	PT. ALTECH
	愛而泰可新材料 (深圳) 有限公司
その他の事業	ALTECH NEW MATERIALS (THAILAND) CO., LTD.
	アルテックアイティ株式会社 アルパレット株式会社

株式の状況

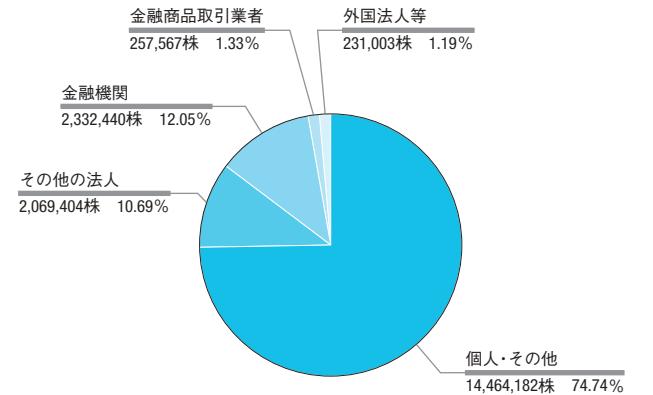
■ 株式の状況 (平成23年5月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 19,354,596株
 株主数 5,075名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
フェニックス・キャピタル・パートナーズ・スリー投資事業組合	8,797,700	46.08
竹内エムアンドティ株式会社	900,000	4.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	552,300	2.89
株式会社三菱東京UFJ銀行	505,920	2.64
由利和久	500,276	2.62
株式会社アルミネ	391,000	2.04
村永八千代	387,076	2.02
日本証券金融株式会社	158,400	0.82
東京センチュリーリース株式会社	151,904	0.79
三井住友海上火災保険株式会社	136,700	0.71

(注) 1. 当社は、自己株式262,739株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 2. 持株比率は、自己株式262,739株を控除して計算しております。

所有者別分布状況



WEBサイトのご案内

<http://www.altech.co.jp/>

アルテック株式会社の最新の情報を掲載しています。

株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	2月
期末配当金受領株主確定日	11月30日
中間配当金受領株主確定日	5月31日（中間配当を実施する場合）
株主名簿管理人 （特別口座の口座管理機関）	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 （郵便物送付先）	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告の方法	電子公告により当社のホームページ （ http://www.altech.co.jp/ ）に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。